

令和 6 年度事業報告（案）

〔 自 令和 6 年 4 月 1 日 〕  
〔 至 令和 7 年 3 月 31 日 〕

1. 一般事項

(1) 会員の状況

会員の種類	令和 6 年 4 月 1 日	入退会状況			令和 7 年 3 月 31 日
		入会	退会	増△減	
会員①	9	0	0	0	9
会員②	2	0	▲1	▲1	1
会員③	146	14	▲13	1	147
特別賛助会員	174	18	▲17	1	175
特別会員	201	4	0	4	205
合計	532	36	▲31	5	537

(2) 会議開催

◆令和 6 年度総会及び交流会 令和 6 年 6 月 18 日（火）

会場：明治記念館

1. 令和 6 年度総会

(1) 議事

(決議事項)

第一号議案 令和 5 年度事業報告の件

第二号議案 令和 5 年度決算報告の件

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

第三号議案 役員の選任（理事及び監事）の件

(報告事項)

1) 令和 6 年度事業計画の件

2) 令和 6 年度収支予算の件

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

2. 交流会

◆理事会

①第 1 回理事会 令和 6 年 6 月 3 日（月） 会場：事務局会議室

(決議事項)

第一号議案 令和 5 年度事業報告の件

第二号議案 令和 5 年度決算報告の件

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

第三号議案 役員の選任（理事及び監事）の件

第四号議案 令和 6 年度総会の開催の件

（報告事項）

- 1) 「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル 2022」  
オンライン講習会の開催
- 2) 「非住宅 木造建築フェア 2024」後援・出展

②第 2 回理事会 令和 6 年 6 月 18 日（火） 会場：明治記念館 1 階 ききょうの間

（決議事項）

第一号議案 代表理事（会長）の選定の件

③第 3 回理事会 令和 6 年 6 月 18 日（火） 会場：明治記念館 1 階 ききょうの間

（決議事項）

- 第一号議案 副会長の選定の件  
第二号議案 顧問就任の件  
第三号議案 参与就任の件

④第 4 回理事会 令和 7 年 3 月 27 日（木） 会場：事務局会議室

（決議事項）

- 第一号議案 令和 7 年度事業計画の件  
第二号議案 令和 7 年度収支予算の件  
(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

（報告事項）

- 1) 会員の加入状況（令和 7 年 3 月現在）
- 2) 定款変更の件（主たる事務所移転）

## 2. 「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル」

### オンライン講習会の開催

#### (1) 事業目的

協会会員（木質耐火部材の製造・販売、木造耐火建築物の設計、工事監理、施工を希望する者）を対象に、「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル 2022」を用いたオンライン講習会を、2024 年 4 月から 2025 年 2 月まで隔月で 2 日間ずつ計 6 回開催した。

講習会を通して、木質耐火部材についての正しい理解を得ていただき、実際に設計施工される建築物が必要な耐火性能や強度などを確実に実現するよう、実務的な使用に供する設計施工の知見修得を目的とした。

(2) 進捗、成果報告

開催日程：2024 年 4 月 23 日（火）、24 日（水）

2024 年 6 月 26 日（水）、27 日（木）

2024 年 8 月 27 日（火）、28 日（水）

2024 年 10 月 16 日（水）、17 日（木）

2024 年 12 月 17 日（火）、18 日（水）

2025 年 2 月 18 日（火）、19 日（水）

開催方法：動画視聴

受講者数：53 名

プログラム：主催者挨拶 / (一社)日本木造耐火建築協会 会長 木村一義

中大規模木造建築の最新動向 / 東京都市大学 名誉教授 大橋好光 様

技術仕様について / (一社)日本木造耐火建築協会 技術部

マニュアルの運用について / (一社)日本木造耐火建築協会 事務局

動画時間：約 3 時間

**3. 非住宅木造建築フェア 2024 後援・出展**

(1) 目的

非住宅木造建築・中大規模木造建築に携わる関係者が集まるイベントに継続出展することで、木耐建が運用する耐火構造の大臣認定や実例、マニュアル講習会等の活動を情報発信し、木耐建の周知と新規入会を促進する。

(2) 進捗、成果報告

日時：2024 年 5 月 30 日（木）、31 日（金）

会場：東京ビッグサイト西ホール

主催：住まい・建築・不動産の総合展 実行委員会

ブース来場者数：210 名

**4. 「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル 2025」編集事業**

(1) マニュアル改訂目的

本マニュアルは、2018 年版、2022 年版に続く 2025 年版となり、防火規制の大幅な合理化が行われた 2024 年の建築基準法の改正への準拠を主として、木耐建が運用する耐火構造の大臣認定や同大臣認定を用いた最新の建築事例を追加掲載する。

また、図表のカラー化やレイアウトの刷新で視認性を向上させ、より使いやすいマニュアルとする。

本マニュアルを通じて、会員による木造耐火建築物の計画に貢献し、社会的潮流となった中大規模・中高層建築の木造化や木質化を推進する。

(2) 改訂・追加項目

- ①木耐建が運用する耐火構造の大臣認定の追加（116 認定追加、計 146 認定掲載）
- ②木造耐火建築物の最新事例の追加
- ③事例を元にした耐火設計の解説の追加
- ④2024 年の法改正における防火規制の要点を解説
- ⑤会員から多く寄せられた質疑を参考に、実施上の注意点を掲載
- ⑥設計図書に掲載できる耐火構造の大臣認定の標準仕様書を拡充
- ⑦耐火構造の製作と施工を支援する「工事自主検査チェックリスト」を整備
- ⑧図表のカラー化やレイアウトの刷新など視認性の向上

(3) 進捗、成果報告

◆マニュアル編集委員会の開催

①開催内容

2018 年版、2022 年版に引き続き、大橋好光様を編集委員長とする編集委員会を開催し、マニュアル改訂の編集及び査読を実施した。

②開催状況

第 1 回編集委員会 2024 年 11 月 15 日(金)16:00～17:00

第 2 回編集委員会 2024 年 12 月 9 日(月)17:00～19:00

第 3 回編集委員会 2025 年 1 月 30 日(木)13:00～15:30

③編集委員会名簿 ※敬称略、順不同

委員長 大橋 好光 東京都市大学 名誉教授

委 員 萩原 一郎 東京理科大学 教授

鍵屋 浩司 東北工業大学 教授

成瀬 友宏 国立研究開発法人建築研究所 防火研究グループ長

上川 大輔 国立研究開発法人森林総合研究所

木材改質研究領域 チーム長

足立 朋樹 一般社団法人日本木造住宅産業協会 技術開発部長

成田 敏基 一般社団法人全国 LVL 協会 技術課長

鶴澤 恒雄 株式会社吉野石膏 DD センター 取締役 需要開発部長

安達 広幸 一般社団法人日本木造耐火建築協会 副会長

事務局 鈴木 智和 一般社団法人日本木造耐火建築協会 事務局長

伊藤 克彦 ” 統 括

武田 純一 ” 耐火担当

小林 健斗 ” 耐火担当

井口 健太郎 ” 編集担当

稲生 遼 ” 編集担当

大和田 遥 ” 表紙・挿絵

◆国立研究開発法人 建築研究所による監修

監修委員会名簿 ※敬称略、順不同

委員長 福山 洋 理事長

委 員 長谷川 洋 理事

野秋 政希 防火研究グループ 主任研究員

5. その他

- (1) 正会員、特別賛助会員、特別会員の加入促進
- (2) 木質耐火部材の耐火構造大臣認定書（写）の発行
- (3) メールマガジンによる会員への情報発信
- (4) 関係機関団体との交流・連携
  - 行政機関及び関係団体との交流連携促進
  - 木材利用の啓発促進
  - その他協会の目的を達成するために必要な事業